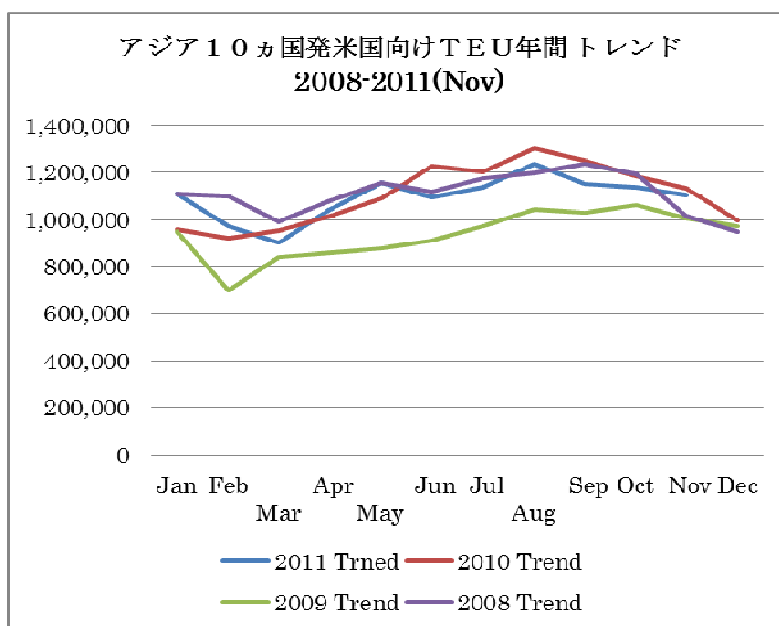


米国通関統計 11 月度実績速報

アジア発米国向けコンテナ 11 月末実績は前年を 1.9%下回る

中国も前年比-2.8%, 日本も-4.1% と連続減少変わらず, タイは 11.1%の減少



Source; Zepol -TradeIQ\*

Zepol(ゼポ) Corporation (本社・米国ミネアポリス [www.zepol.com](http://www.zepol.com)) は、12月8日、米国税関 AMS・B/L データを基に、米国海上輸入 11 月度実績をまとめました。

それによると、アジア主要 10 カ国発 TEU (B/L・Loading Port・母船積地ベース・実入り・FROB 含)は、前年同期比で 1.9%のマイナスとなりました。(表 1 参照)

先に 11 月 21 日までの中間実績では 3.7%のプラスを示しましたが、中国をはじめ日本も月末まではその勢いが続かず結局 6 か月連続マイナスの結果となりました。

米国コンテナ輸入全体でも、欧州・中米発なども減り先月+0.99%だった前年比は -1.7% (通関 B/L 件数ベース・TEU と相関) と減少しました。

日本は 21 日までは 5 か月ぶりのプラス (5.3%) でしたが、結局-4.1%となりましたが、韓国は+12.5%で、自国分でも+2.8%(表 2 参照)と好調維持でした。

一方、洪水被害のタイはトランシップを含む場合で-11.2%、自国分は-13.4%と

中間実績から拡大しており洪水の影響が顕著です。(表2参照)

**表1:アジア 10カ国発米国向けTEU (11月)**

(母船積地ベース・実入り・FROB 含)

順位	アジア 10カ国	TEU	前年比(%)	シェア(%)	前月比(%)
1	中国	659,404	-2.8	60	-2
2	韓国	121,427	12.5	11	2.4
3	香港	92,505	-11.1	8	-7.7
4	台湾	76,985	-0.9	7	-2.2
5	日本	55,011	-4.1	5	-1
6	シンガポール	46,302	-5.8	4	2.5
7	ベトナム	19,382	20.4	2	-13.1
8	タイ	13,085	-11.2	1	-12.4
9	マレーシア	12,789	-18.2	1	-13.7
10	インド	12,244	-14	1	-7.9
	合計	1,109,134	-1.9	100	-2.4

Source: Zepol TradeIQ

**表2:アジア 10カ国発米国向けTEU (11月)**

(荷受地ベース・実入り・FROB 含)

順位	アジア 10カ国	TEU	前年比(%)	シェア(%)	前月比(%)
1	中国	741,082	-0.5	67	-1.5
2	韓国	62,852	2.8	6	-5.9
3	日本	57,524	-1.9	5	-1
4	台湾	43,781	-2.4	4	-2.5
5	香港	43,430	-12.1	4	-12
6	ベトナム	40,348	-0.3	4	-5.4
7	インド	34,790	5.9	3	-2.7
9	インドネシア	31,295	-5.8	3	5.2
8	タイ	26,869	-13.4	2	-13.6
10	マレーシア	16,266	-5.9	2	-1.1
	合計	1,098,237	-1.4	100	-2.6

Source: Zepol TradeIQ

表1,表2の違いは、トランシップをふくむ母船積地ベースと自国分を表す荷受け地ベースで、それぞれの国毎の差異がトランシップ分となります。

シンガポールとインドネシアが片方にしか順位に入っていないのもそれを表わしてい

ます。

日韓の港別の動きとしては、釜山港のトランシップ分のシェアは、国別では中国からの増量が（上記中国の連続マイナスの中で）目立ちますが（表3参照）、日本各港への釜山経由は、大阪、大分、東京の増加が目につきます。（表4参照）

日本発、直行分は各港とも先月の横ばい傾向でした。（表5参照）

**表3: 釜山港TS・上位10カ国動向（11月）**

荷受け港	8月	9月	10月	11月
韓国(自国分)	51,895	51,113	57,684	54,935
中国	40,204	38,333	37,605	43,978
日本	4,557	3,361	4,241	4,433
インドネシア	2,100	2,015	1,971	2,124
マレーシア	969	584	1,412	1,710
ベトナム	2,123	2,048	1,592	1,417
インドネシア	1,066	1,010	1,467	1,148
台湾	585	765	716	710
フィリッピン	510	545	481	571
タイ	396	447	429	481
その他	3,097	3,031	3,505	3,575
<b>釜山発合計</b>	<b>107,503</b>	<b>103,252</b>	<b>111,103</b>	<b>115,081</b>

Source: Zepol TradeIQ

**表4: 釜山 TS・日本分動向（11月）**

荷受け港	8月	9月	10月	11月
博多	1,318	700	950	1,065
大阪	460	337	393	557
広島	315	320	368	402
神戸	253	249	416	359
門司	230	182	212	193
徳山	161	131	190	192
大分	134	107	58	178
横浜	192	165	198	171
東京	132	58	98	151
細島	218	191	245	144
その他	1,144	921	1,113	1,022
<b>釜山TS合計</b>	<b>4,557</b>	<b>3,361</b>	<b>4,241</b>	<b>4,433</b>

**表5: 日本港発・直行分動向（11月）**

母船積出港	8月	9月	10月	11月
東京	18,377	16,653	17,702	17,423
名古屋	13,897	12,769	14,481	14,872
神戸	8,920	7,941	9,505	9,598
横浜	7,557	7,924	7,153	7,183
清水	2,979	2,434	2,537	2,675
大阪	2,023	1,153	1,637	1,517
博多	2,154	1,795	2,016	1,307
その他	764	539	524	436
<b>日本港合計</b>	<b>56,672</b>	<b>51,207</b>	<b>55,555</b>	<b>55,011</b>

Source: Zepol TradeIQ

次に、米国商務省から11月9日に発表された10月分貿易統計から中国発米国向け上位10品目について海上コンテナと航空貨物の動向を分析した結果を示します。（表6,表7参照）

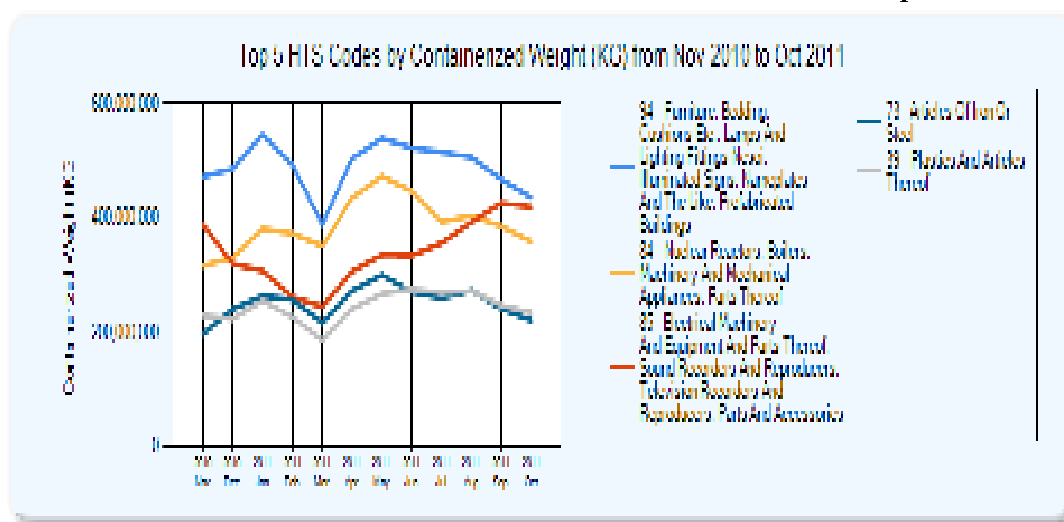
表6: 中国発米国向けコンテナ貨物上位10品目コード（10月）

順位	HSコード	米国輸入品目	コンテナ貨物重量 (kg)	前年比 (%)	構成比 (%)	前月比 (%)
1	94	家具、寝具、照明器具	435,216,796	-13	10.8	-6.9
2	85	電気機器（テレビなど）	418,448,271	-1.4	10.4	-1.7
3	84	機械類（プリンタなど）	358,168,782	6	8.9	-6.9
4	95	玩具、遊戯運動、	325,439,036	-17.5	8.1	1.7
5	39	プラスチック製品	233,691,907	-2.8	5.8	-5.2
6	73	鉄鋼部品類	220,386,430	-2	5.5	-8.4
7	69	タイル、陶磁器、	200,651,713	18.2	5.0	7.8
8	87	自動車用部品	157,100,827	-10.4	3.9	-11.3
9	44	木材及びその製品	123,731,570	-14.7	3.1	-13.6
10	64	履物	119,241,659	-13.1	3.0	-6.5
		その他品目*	1,439,235,298	-5.4	35.7	-7.4
		中国発コンテナ合計	4,031,312,289	-5.6	100.0	-5.6

{追記\* HS61+62+63 繊維及びその製品(5位) 251,569,833 -16.5% 6.2%}

Source: Zepol TradeView/商務省統計 (2011/12/9)

表6A: 中国発コンテナ貨物量上位5品目の月別推移 2011（1月—10月） Zepol TradeView



Copyright © Zepol Corporation. All rights reserved

表7: 中国発米国向航空貨物上位10品目コード (10月)

順位	HSコード	中国発航空輸出品目	航空貨物量 (kg)	前年比 (%)	構成比 (%)	前月比 (%)
1	84	機械類 (PCなど)	27,057,263	9.4	30.9	5.5
2	85	電気機器 (携帯など)	24,974,064	-9	28.5	12.6
3	62	衣類(メリヤス編・クロス編除く)	5,068,489	-35	5.8	-1.5
4	61	衣類(メリヤス編・クロス編)	4,909,523	-48.8	5.6	-1.2
5	42	皮革製品	3,078,775	-2.7	3.5	2.8
6	90	精密、医療用機器	2,739,709	-2.7	3.1	5.3
7	39	プラスチック製品	2,494,446	0.1	2.8	3.1
8	64	履物	2,136,036	-33	2.4	-8.7
9	95	玩具、遊戯運道具	1,940,094	-27	2.2	-1.7
10	71	装身用人造宝石	1,924,200	-18.7	2.2	43
		その他	11,356,393	0	13.0	6.4
		<b>中国発航空合計</b>	<b>87,678,992</b>	<b>-10.5</b>	<b>100.0</b>	<b>6.5</b>

Source: Zepol TradeView/商務省統計 (2011/12/9)

表7A: 中国発航空貨物量 (kg) 上位2品目の月別推移 2011 (1月-10月) Zepol TradeView

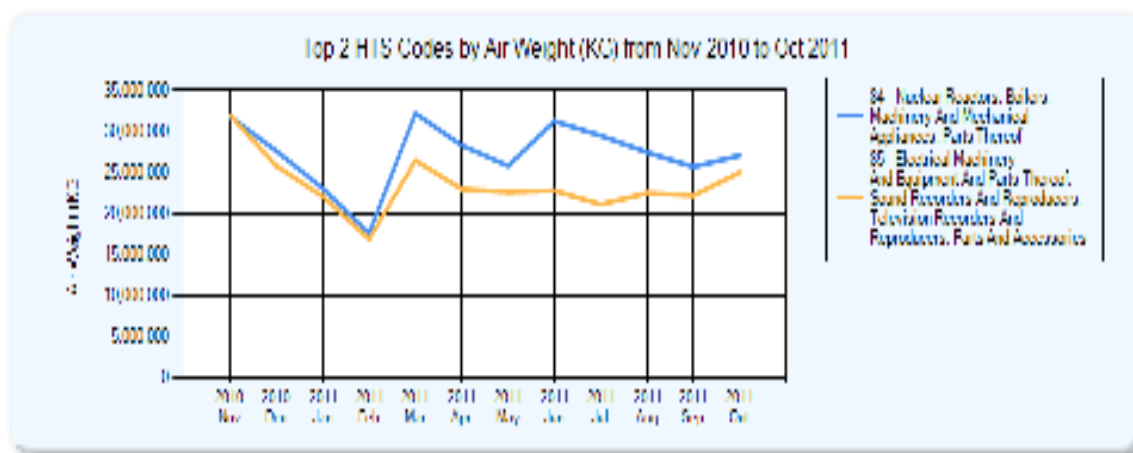
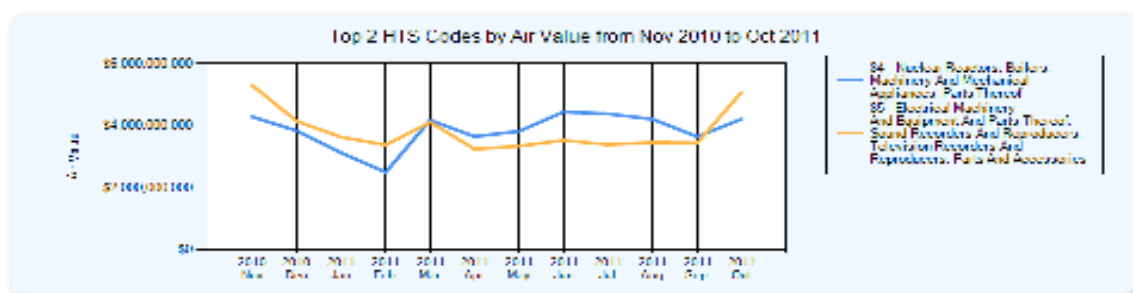


表7B: 中国発航空貨物金額 (US\$) 上位2品目の月別推移 2011 (1月-10月) Zepol TradeView



## \*\* Zepol (ゼポ) トレードデータとは ???

- \* Zepol TradeIQ は、米国税関から公表される AMS(Automated Manifest System) B/L 記載データを Zepol (ゼポ) が独自開発した検索エンジンによりデータベース化した米国貿易統計データで、輸入通関後約 1 週間で分析結果をオンラインで把握することができます。
- \* 毎日約 3 万件に及ぶ全米各港からの B/L 情報が 11 月で (2003 年以来) **1 億件**。  
ゼポのデータベースにユーザーほどのパソコンからでも簡単にアクセスし、検索・作表・ダウンロードが可能で、IT のパワーをフルに活用した社外リソースとして各業界・機関から評価されています。
- \* ロジステック関連 IT ソリューション・プロバイダーとして、ゼポは 2011 年発表の “Top 100 Logistics IT Providers” にも選ばれています。  
([www.inboundlogistics.com/lit/top100.shtml](http://www.inboundlogistics.com/lit/top100.shtml))
- \* PC 画面上で B/L #, Shipper, Consignee, Ports, Carrier, Products, Weight, TEU などの個別 B/L 記載項目別のマトリックス分析が簡単に行えます。
- \* 又、Container Type, LCL/FCL, Empty/Loaded, FROB 貨物、などの区分も簡単に目的に応じた分析が出来ます。
- \* 毎月、約 40 日後に発表される米国商務省貿易統計も、同じ検索エンジンを使い、コンテナ貨物、航空貨物について、重量・金額別、国別・米国港別に、HS 品目コード毎 10 桁までのマトリックス分析が商務省発表の同日に可能となりました。(Zepol TradeView)
- \* 因みに、商務省最新統計の 10 月分は 11/9 の発表でしたが、ゼポでは発表と同時に分析結果が判る分析ツールとしてオンライン提供をしているものです。  
(HS コード別に米国輸出入金額トレンド・上位 5 か国を [www.zepol.com/home](http://www.zepol.com/home) の無料ツールで検索 (10 桁) 可能です)
- \* ゼポのトレードデータ TradeIQ は政府統計としての情報価値に加えて、米国情報公開法により入手可能となっている通関時の個別 B/L 記載データは見過ごせない事実情報源です。
- \* ゼポのクライアントは 1,300 社を越えポートオーソリティなども含めた海運・航空輸送関係に限らず、化学、食品、機械、電機、法律事務所など幅広い業界にわたっています。  
例えば国別、港別の品目別トレンド画面から、すぐに同じ PC 画面上で荷主、相手港、輸入先、船社/NVOCC、品目・数量などアクチュアル情報への掘り下げを行いアクションに結び付けています。

速報性の高い統計分析ツールであると同時に市場競争の為の競合分析ツールとして活用されています。

#### クライアントの評価の声

“Zepol’s trade data tools play an important role in our operations. Not only do we target specific importers to grow our ports’ traffic, but we also examine a wide variety of markets to track trade lane usage and volumes to create timely, accurate market reports. TradeIQ™’s interface makes finding the information we need simple, saving countless hours. Zepol’s products are essential for any company in the international trade community.”

Marketing Director

East Coast Regional Port Authority

(和訳)

「ゼポのトレードデータ分析ツールは我々のオペレーションに重要な役割を果たして呉れている。港湾利用拡大に貢献して呉れる企業を見つけるだけでなく、多彩な業界動向が把握できるので、物流計画やタイムリーで正確な市場レポートの作成に活用している。

ゼポの TradeIQ を情報インターフェイスに使えると、必要な情報の検索が簡単にできることで、どれくらい時間の節約になっているか判らない位だ。ゼポの情報サービスは広く貿易業界に欠かせないツールだと思う」

米国東岸地区ポートオーソリティ  
マーケティング担当ディレクター



[www.Zepol.com](http://www.Zepol.com)

Over 100,074,460 B/L (Nov.28,2011)

本リリースの分析内容と Zepol (ゼポ) に関するお問い合わせ先：

日本：Zepol Japan [mnanseki@zepol.jp](mailto:mnanseki@zepol.jp)